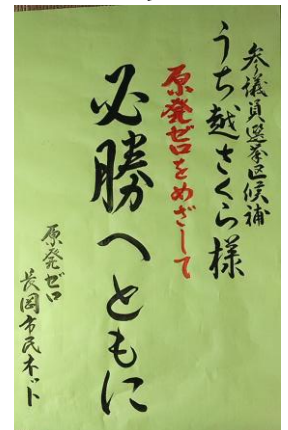


野党統一候補 うち越さくらさん当選！ ともに 原発ゼロ社会の実現へ

原発ゼロネット、さくらさんに檄を送る



参議院選挙新潟選挙区で、原発ゼロ実現を明確に公約に掲げたうち越さくらさんが、原発推進の候補に4万票余りの差をつけて当選しました。選挙の出口調査では柏崎刈羽原発再稼働に約7割の人が反対と答えています。県民とともに、そしてさくらさんとともに、原発ゼロをめざして活動をさらに大きく発展させていきたいと思います。

この勝利を力に、「なくそテ原発9・1 柏崎大集会」を成功させよう
 ☆9月1日(日)は、誘い合せて 柏崎市のアルフォーレに集まりましょう！
 ☆「原発を止めないと、日本は成長できない」と題して、テレビやラジオでおなじみの金子勝さん(慶応大学名誉教授)がお話しします。
 ☆福島からの避難者の報告、音楽演奏などもあります。
 ◎詳しくは同封のチラシをご覧ください。
 できるだけバスをご利用ください。

周辺自治体にも事前同意権を

請願署名名の推進

5筆、10筆、20筆と、会員のみなさんから署名が寄せられています。30筆圏内の長岡市民が意思決定もできないまま再稼働が決められるなんてイヤと、署名の呼びかけにほとんどの人が応えてくれ、原発ゼロへの思いを語ってくれる人もいます。一人でも多くの周りの人に声をかけ署名をしてもらいましょう。併せて地域ローラー署名、他団体の協力もお願いし、12月議会に1万人以上の署名を提出し採択をめざしましょう。(用紙の必要な方はいつでも事務局又は世話人にお申し出ください。)

第2回地域ローラー署名にご参加を！

◆7月27日(土)15時〜配布
 ◆7月28日(日)10時〜回収

◆寿集会所に集合を！

◆第3回地域ローラー署名にご参加を！
 ◆8月17日(土)15時〜配布
 ◆7月18日(日)10時〜回収

◇栖吉コミセン分室(栖吉センター)に集合を！

☆講演会のお知らせ

「災害医療の実際と変遷」
 自然災害・原発災害にどう備えるか
 講師 内藤万砂文さん
 ○8月25日(日) 13時30分 *詳細はチラシで
 ○長岡市立中央図書館講堂

【原発事故から8年5ヶ月 福島を忘れない！】
 ☆8月11日(日) 12時〜12時半

☆アオーレ長岡前街頭署名にご参加を！

傍聴してきました！ 県の検証委員会「健康分科会」

2019.7.8 (月) 14時~16時
 新潟県自治会館内

第5回新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会の中の健康分科会(5人の委員:青山英史・秋葉澄伯・木村真三・鈴木宏・中村和利)の生の議論や報告を傍聴できた。前日もよかったので期待して聴いていた。

資料をもとに、生の報告と議論の声をきけてうれしかった。それぞれの方の間合いから、この取りくみへの気合が伝わってきて、私もひきこまれて聴いていった。事務局によるこれまでの分の報告書作成への道筋も見えてきた。とてもうれしいことである。

●以下の配布資料がのちの私の「？」をたすけてくれるので、読みたい方にお貸しします。(ゼロネット事務局に申し出ください。)

<配布資料>

- ①第4回健康分科会における主な意見
- ②低線量放射能被ばくによる健康影響、特に福島事故に関連して
- ③福島原発事故の影響に関連する日本語論文検索について
- ④ベラルーシ医療関係者との意見交換会概要

●主な議題 放射線被ばくによる健康影響について

私は安定ヨウ素剤の配布のことをもっと詳しく知りたいと思っていた。どうとらえていいのか疑問があった。それに対し④の資料に次のように実証が述べられていて疑問が解けた。要約すると→ポーランドでは95%の子供に24時間以内に配った。それで甲状腺がんは非常に少ない。理由は、情報が届いていた。マニュアルがあった。しかし、ベラルーシは事故のことが隠されていた。そして指示がなかった。(広川)